

第 25 回一般社団法人日本顎関節学会総会・学術大会 開催のご挨拶

第 25 回一般社団法人日本顎関節学会総会・学術大会

大会長 柴田考典

北海道医療大学歯学部生体機能・病態学系組織再建口腔外科学分野

第 25 回一般社団法人日本顎関節学会総会・学術大会のご案内をさせていただきます。

本学会が札幌で開催されるのは、札幌教育文化会館において中村進治大会長(北海道大学歯学部歯科矯正学講座)のもとで開催された第 10 回大会(1997 年 7 月 31 日-8 月 1 日)以来、15 年ぶり 2 度目となります。

本学会は、この間に有限責任中間法人を経て一般社団法人格を有する学際的な学会として発展して参りました。さらに、2013 年度には国民、顎関節症患者、地域の歯科医師および医師等の社会的要請に応えるために、顎関節症専門医制度の施行を予定しております。

本学術大会では、「(顎関節症の)鑑別診断を極める」を大会テーマとして、さまざまな企画を欲張って組み込みました。

主題口演として矢谷博文氏に「顎関節症の症型分類を再考する」と題してご講演いただきます

教育講演として、坂東永一氏に「顎運動研究の現状と将来展望」、佐野 司氏に「パノラマ X 線写真で顎関節がどこまで分かるか」、築山能大氏に「顎関節症の症状を呈する他の疼痛性疾患との鑑別」、近藤壽郎氏に「in vitro 滑膜炎モデルから顎関節を考える」、志賀 博氏に「顎関節症患者の機能評価のガイドライン」、井上農夫男氏に「顎関節症の診断基準と診療ガイドライン」について総覧していただきます。

ハンズオンセミナーとして、村上賢一郎氏、川上哲司氏に「顎関節腔穿刺法の実際とその応用」を、さらに鱒見進一氏、皆木省吾氏に「スプリントの作り方、使い方」について成書をテキストとして解説いただく予定です。

学会奨励賞受賞講演としては、木野孔司氏に「顎関節症の診療ガイドライン作成における“Patient Question”収集のための患者ボランティアに対する個別面説調査」について報告していただきます。

さらに、一般臨床歯科医の方々からの提案により「臨床医が知っておきたい一軸(身体)・二軸(精神)の鑑別診断 のポイント」と題して医療連携セミナーを企画して頂きました。

その中で甲斐貞子氏に「日常臨床における歯科疾患と顎関節症の鑑別診断のポイント」、今井昇氏に「神経内科医から見た顎関節症の鑑別診断」、野澤健司氏に「どこで歯科医は II 軸障害に気づいたらいいのか?」、宮地英雄氏に「精神的問題が疑われるときに歯科医師に考えてほしいこと」についてお話し頂きます。

また、本総会・学術大会は一般社団法人日本顎関節学会認定医制度暫定内規に定めます認定医認定の最終年に当たります。最後の認定医申請者ポスタープレゼンテーションになりますので、認定医取得を目指される会員の皆様は奮って応募していただければ幸いです。

7 月の北海道は梅雨がなく、初夏の草花が咲き乱れ緑あふれる最も美しい時候です。特に、ラベンダー・ポピー、ルピナスを代表とする北海道の夏の美しい花畑、小麦畑のコントラストは一見の価値のある景観といえます。

大会諸行事を確定するに至るまで、覚道健治理事長、栗田賢一学術大会運営委員長はじめ役員ならびに学会会員の皆様には大変お世話になりました。紙面をお借りして厚くお礼申し上げます。

最後に、皆様方のご支援によりまして、本学術大会が成功裏に終えることを心より祈念致しまして、開催の挨拶とさせていただきます。

第25回一般社団法人日本顎関節学会総会・学術大会のご案内

大会長 柴田 考典

準備委員長 永易 裕樹

(主管 北海道医療大学歯学部生体機能・病態学系組織再建口腔外科学分野)

第25回一般社団法人日本顎関節学会総会・学術大会

会期：2012年7月14日(土)、15日(日)

2012年は役員改選年に当たりますので、理事会、社員総会等の役員会は7月13日(金)午前中より開催いたします。

会場：シャトレーゼ ガトーキングダム サッポロ

〒002-8043 札幌市北区東茂戸132

Tel：011-773-2629 URL：<http://www.gateauxkingdom.com/>

メインテーマ：「鑑別診断を極める」

【プログラム】

1. 主題講演

「顎関節症の症型分類を再考する」

講師：矢谷博文

(大阪大学大学院歯学研究科 口腔科学専攻 顎口腔機能再建学講座 クラウンブリッジ補綴学分野)

2. 教育講演

教育講演1

「顎運動研究の現状と将来展望」

講師：坂東永一(徳島大学 名誉教授)

教育講演2

「パノラマで顎関節がどこまで分かるか」

講師：佐野 司(東京歯科大学 歯科放射線学講座)

教育講演3

「顎関節症の症状を呈する他の疼痛性疾患との鑑別」

講師：築山能大(九州大学大学院歯学研究院 口腔機能修復学講座 インプラント・義歯補綴学分野)

教育講演4

「in vitro 滑膜炎モデルから顎関節を考える」

講師：近藤壽郎(日本大学 松戸歯学部 顎顔面外科学講座)

教育講演5

志賀 博 「顎関節症患者の機能評価のガイドライン」

講師：(日本歯科大学 生命歯学部 歯科補綴学第1講座)

教育講演6

井上農夫男「顎関節症の診断基準とガイドライン」

講師：(北海道大学大学院歯学研究科 口腔医学専攻 口腔健康科学講座 高齢者歯科学教室)

3. 奨励賞受賞講演

「顎関節症の診療ガイドライン作成における“Patient Question”収集のための患者ボランティアに対する個別面説調査」

講師：木野孔司(東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 全人的医療開発学系 包括診療歯科学講座 顎関節咬合学分野)

4. ハンズオンセミナー

ハンズオンセミナー1

「顎関節腔穿刺法の実際とその応用」

コーディネイター：村上賢一郎(赤穂市民病院 歯科口腔外科)

川上 哲司(奈良県立医科大学 口腔外科学教室)

ハンズオンセミナー2

「スプリントの作り方、使い方」

コーディネイター：鱒見進一(九州歯科大学 口腔機能再建学講座 顎口腔欠損再構築学分野)

皆木省吾(岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 咬合・有床義歯補綴学分野)

5. 医療連携セミナー「臨床医が知っておきたい一軸(身体)・二軸(精神)の鑑別診断のポイント」

①日常臨床における歯科疾患と顎関節症の鑑別診断のポイント

講師：甲斐貞子(たていし歯科口腔外科クリニック)

②「神経内科医から見た顎関節症の鑑別診断」

講師：今井昇(静岡赤十字病院神経内科)

③「どこで歯科医はⅡ軸障害に気づいたらいいのか？」

講師：野澤健司(野澤歯科顎関節研究所)

④「精神的問題が疑われるときに歯科医師に考えてほしいこと」

講師：宮地英雄(北里大学医学部精神科)

6. 専門医暫定規則に基づく認定医取得のためのポスタープレゼンテーション(最終)

7. 一般演題

8. 市民公開講座 未定

9. ランチョンセミナー 未定

10. 企業展示

【演題申し込みについて】

1. 投稿規程

発表は、演者・共同発表者とも本学会員に限ります。

現在会員でない方は、会則に従って入会手続きをしてください。

《入会の手続き先》一般社団法人日本顎関節学会事務局

〒170-0003 東京都豊島区駒込1-43-9 駒込TSビル4階(財)口腔保健協会内

TEL : 03-3947-8891 FAX : 03-3947-8341 URL : <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jstmj/>

2. 演題募集および抄録提出期間

2012年2月1日(水)～4月30日(月)

演題登録および抄録提出はオンラインでの応募となりますので、詳細は大会ホームページ(下記URL)をご参照ください。

URL : <http://www.opengate.co.jp/jstmj25/>

演題登録要項

抄録本文は、まず最初にご自身のPC上でPDFファイルとして作成し、コピー機能を使って演題登録画面内、抄録本文用枠内にペーストすることをお奨めします。

3. 文字入力に関するお願い

(1) 和文抄録の場合

- ① 研究報告の抄録は【目的】、【方法】、【結果】、【結論】の定型抄録形式で記載してください。また、症例報告の抄録は【目的】、【症例】、【結果】、【結論】の定型抄録形式で記載してください。
※ これらが明確でない演題は不採用となる可能性があります。
- ② 抄録本文は日本語600文字以内となります。
- ③ 著者名、所属機関名、演題名、抄録本文の合計総文字数は全角990文字となります。
- ④ 日本語を選択した場合でも「著者名」、「所属機関名」、「抄録タイトル」は英語での登録が必要になります。
※ 英語の「著者名」、「所属機関名」、「抄録タイトル」は、総文字数に含まれません。
- ⑤ 英文の姓名表記について、姓は全て大文字、名は最初の1文字のみ大文字です。(例：札幌 太郎の場合 SAPPORO Tarou)

(2) 英文抄録の場合

- ⑥ 抄録本文は英語250words以内、研究報告の抄録は、“Objective” “Methods” “Results” “Conclusion”、症例報告の抄録は、Objective” “Case” “Results” “Conclusion”の定型抄録形式で記載してください。
※ これらが明確でない演題は不採用となる可能性があります。
- ⑦ 著者名(英語)、所属機関名(英語)、抄録タイトル(英語)、抄録本文(英語)の合計総文字数はスペースを含めて、半角1980文字となります。
- ⑧ 姓名表記について姓は全て大文字、名は最初の1文字のみ大文字です。
(例：札幌 太郎の場合 SAPPORO Tarou)
※ 写真および図表は一切掲載できませんのご了承ください。
※ 本大会では大会の抄録・プログラム集は学会誌(大会特別号)として発刊されますので、後抄録の登録はありません。
※ 大会特別号は、一般社団法人日本顎関節学会の全会員に、大会前(7月初旬予定)に送付いたします。

4. 演題・抄録提出時の注意点

大会ホームページ上お知らせいたします。

5. 発表形式

(1) 口演発表形式

- ① 発表時間：口演7分、質疑応答3分
- ② PCと液晶プロジェクターを連動させたプロジェクターによるプレゼンテーションです。

(2) ポスター発表提示形式

ポスターのサイズ、発表方法については次報および大会ホームページ上にてお知らせいたします。

(3) 採否結果について

なお、採否につきましては、プログラム検討委員会にご一任ください。

【優秀ポスター賞】

ポスター発表の中から優秀ポスター賞が選考されます。

【大会参加申し込み】

1. 事前登録について

(1) 申込期間

2012年1月30日(火)～6月8日(金)となります。なお、事前参加申込は、下記の前納参加費の振り込み確認をもって有効とします。

事前参加申込は、大会ホームページ(URL : <http://www.opengate.co.jp/jstmj25/>)からオンライン登録となります。Web環境のない方は、大会事務局宛にご連絡ください。

(2)参加費

	当日	前納
会員	15,000円	12,000円
非会員	15,000円	13,000円
学生・研修医	12,000円	10,000円

(3) 申込方法

大会ホームページ上にてお知らせいたします。

(4) 参加費の前納方法

以下の郵便振替口座、あるいは銀行口座に前納ください。

郵便振替口座

加入者名 第25回一般社団法人日本顎関節学会総会

口座記号番号 02740-1-108776

※ 郵便振替払込用紙を本学会誌に差し込みましたのでご利用ください。

銀行口座

郵貯銀行 支店 二七九店 (279)

口座種類 当座

口座番号 0108776

【ハンズオンセミナー申し込み】

大会受付時にテキスト(書籍)の配付がありますので、オンラインによる事前参加申し込みを原則とします。

(1) 顎関節腔穿刺法の実際とその応用 2,000円(非会員3,000円)

使用テキスト:「顎関節腔穿刺法の実際とその応用」ヒョーロン・パブリッシャー刊参考:頒価2,000円)

(2) スプリントの作り方・使い方 6,000円(非会員7,000円)

使用テキスト:「写真でマスターする顎関節症治療のためのスプリントの作り方・つかい方」

ヒョーロン・パブリッシャー刊 (参考：定価 6,825 円)

(3) 申込方法

参加申込は、大会ホームページ(URL : <http://www.opengate.co.jp/jstmj25/>)からオンライン登録となります。Web環境のない方は、大会事務局宛にご連絡ください。

申込期間は、大会事前参加登録と同様 2012 年 1 月 30 日(火)～6 月 8 日(金)となります。なお、参加申込は、下記の前納参加費の振り込み確認をもって有効とします。

本学会誌に差し込みました郵便振替払込用紙の通信欄に、参加申し込みをされたハンズオンセミナーの種類をハンズオンセミナー1、ハンズオンセミナー2、ハンズオンセミナー1および2と明記ください。詳細は大会ホームページ上にてお知らせいたします。

2. 会員懇親会について

(1) 開催日：2012 年 7 月 14 日(土) 19:00～(予定)

(2) 会場：シャトレーゼ ガトーキングダム サッポロ B1F「大膳」(予定)

(3) 参加費：5,000 円

※皆様のご参加をお待ちしております。

【注 意】

本大会への出席は、本学会専門医、認定医の取得申請、更新に必要な研修単位となります。大会参加章は出席の証明になりますので、大切に保管してください。

【研修単位について】

1. 本学術大会は、「一般社団法人日本顎関節学会専門医制度施行細則における別表 1 専門医・指導医申請資格および更新の研修単位基準、1 学会参加・発表」に準じ、本学術大会との研修単位 10 単位を取得することができます。
2. 本学術大会でご発表された場合、研修単位 (演者 10 単位/1 回、共同演者 5 単位/1 回) を取得することができます。

第 25 回一般社団法人日本顎関節学会総会・学術大会

大会長：柴田考典

準備委員長：永易裕樹

大会事務局：北海道医療大学歯学部

生体機能・病態学系組織再建口腔外科学分野

Tel : 0133-23-1429, Fax : 0133-23-1429

URL : <http://www.opengate.co.jp/jstmj25/>

E-mail : os-sec@hoku-iryo-u.ac.jp